

平成 24・25 年度 立 川 市 教 育 委 員 会 研 究 協 力 校
平成 24・25 年度 立 川 市 学 力 向 上 推 進 研 究 校
平成 25・26 年度 東 京 都 学 力 向 上 パ ー ト ナ ー シ ッ プ 事 業 調 査 研 究 校

研究主題 確かな学力を育む学習指導の在り方

～授業改善・学習機会の拡充・学習意欲の向上を通して～



挨拶

立川市教育委員会教育長 小町 邦彦

立川市立立川第一中学校におかれましては、平成 24・25 年度立川市教育委員会研究協力校・学力向上推進研究校並びに平成 25・26 年度東京都学力向上パートナーシップ事業調査研究校として、研究主題を「確かな学力を育む学習指導の在り方」と設定し、研究を推進してこられました。

それぞれの研究校としての研究内容を確実に推進し、授業改善や評価・評定の工夫、学習機会の拡充や家庭学習の支援等により、多角的に生徒の学力向上を図ってこられたことは、本市の重要課題である学力向上に資する、極めて意義深い研究であると考えております。

國島健二校長先生をはじめとする先生方に、研究への取り組みに対して感謝申し上げるとともに、本校の研究に丁寧なご指導を賜りました講師の方々に、改めて感謝申し上げます。

立川第一中学校の研究が市内及び市外の学校において広く活用されることを期待し、挨拶といたします。

はじめに

立川市立立川第一中学校長 國島 健二

本校はこの2年間、「確かな学力の育成」を学校経営の最重要課題に掲げ、「授業改善」「学習機会の拡充」「学習意欲の向上」の3つを研究の柱とし、生徒の変容を成果指標に、より具体的で実践的な取り組みを進めてまいりました。

2年間の研究を通して、生徒の学力は、各種調査の結果からも、一定の成果を上げることができたと考えております。なかでも、学習意欲に関しては、さまざまな学習活動の場面で、生徒が自信や意欲をもって取り組む姿が、多く見られるようになりました。

今後は本研究の成果のうえに、さらなる授業改善と学力向上に特化した関係小学校との連携教育活動の充実を通して、生徒一人一人の学力をさらに伸ばしていく取り組みを展開する所存です。

終わりに、これまで本研究において温かくご指導いただきました、東京女子体育大学教授の田中洋一先生をはじめ、授業研究の講師の先生方や立川市教育委員会の先生方に、心より感謝申し上げます。

立川市立立川第一中学校

平成 25 年度 学力向上 を図るための全体計画

学習指導要領の理念 「生きる力」の育成 = 知・徳・体のバランスのとれた力の育成
 (知：確かな学力 徳：豊かな人間性 体：健康・体力)

【目指す教師像】
 ○立川一中を愛する教師
 ○一時間一時間の授業を大切にす教師
 ○生徒一人一人を大切にす教師

【教育目標】
 ・知性を磨いて個性を伸ばそう (知性)
 ・敬愛の心を深め良い市民になろう (敬愛)
 ・勤労を愛し責任を果たそう (勤労)

【目指す生徒像】
 ○**確かな学力**と豊かな個性をもった生徒
 ○思いやりの心と規範意識をもった生徒

【目指す学校像】
 ○安心して通わせられる学校
 ○**確かな学力**と社会性を身に付けさせてくれる学校

学習機会の拡充
 《 補充教室の開催 》
 ☆▲定期考査前の学習教室
 ・放課後質問教室
 各考査前5日間 全教科・全教員
 ・土曜学習教室
 各考査前の土曜日 年5回
 退職教員+大学生+地域人材を活用
 ◎▲三者面談期間中の学習教室
 ・ビルドアップ教室
 各学年副担任が担当
 ☆▲夏季休業中の学習教室
 ・サマースクール
 夏季休業中6日間 全教科(56コース)
 ◎ 夏季休業前の夏期講習
 ・パワーアップ教室
 塾講師を活用しての講習<国数英>

家庭学習への支援
 《具体的な家庭学習の在り方について指導》
 ◎▲「家庭学習のしおり」を作成
 →生徒(保護者)配付(7月)
 ◎▲宿題提示の工夫
 -宿題の内容や努力した成果を發揮できる場の工夫-
 ☆ 学力テスト(フォローアップシート)の家庭学習への活用

確かな学力の育成
 *基礎的・基本的な知識や技能の習得
 *思考力・判断力・表現力等の育成
 *学習意欲の向上 や学習習慣の確立

校内研究の充実
 平成 24・25 年度立川市教育委員会研究協力校
 《基礎・基本の習得と思考力・判断力・表現力等の育成》
 □講師を招聘し、全教科で教員全員参加型の研究授業と研究協議会を実施
 □基礎的・基本的な知識や技能を活用する学習活動を取り入れた授業の工夫
 □思考力・判断力・表現力等の評価の研究

授業改善と授業力の向上
 《生徒が「わかった・できた」という実感がともない+「意欲と自信」がもてる授業の展開》
 □学習のねらいや学習活動の手順を提示
 □『授業改善推進マイプラン』の作成
 □生徒による「授業評価」の実施(年2回)
 □若手教員対象のOJTを通した授業改善
 □小学校との接続を意識した授業展開
 ▲個に応じた指導の充実
 →習熟度別少人数授業の試行
 (1年国語 2・3学期)

評価・評定の活用
 《学習の振り返りによる意欲の向上》
 □通知表(学習の記録)配付—終業式3日前
 ・評価に関する質問期間の設定
 ・学習状況を振り返り次学期につなげる
 □「評価説明資料」配付—終業式3日前
 ・学習状況の振り返りに活用
 □生徒の自己評価を工夫
 ・『学習振り返りシート』の活用—各学期末
 ▲学力の定着度の把握と管理
 ・「個人カルテ(試行)」の作成と活用(1年国語)

研究の概要

基礎的・基本的な知識・技能

平成23年度の「児童・生徒の学力向上を図るための調査」A問題において、東京の平均正答率を下回る。

思考・判断・表現する力

平成23年度の児童・生徒の学力向上を図るための調査B問題において、東京都の平均正答率を大幅に下回る。

学習意欲の向上

学習に前向きな集団とそうではない集団との二極化が見られる。（「授業アンケート」から）授業規律の確立が課題。

平成24年度	研究授業（年4回）	「学習の見通し」から授業改善＋「学習の振り返り」から授業改善
	評価・評定の活用	評価説明資料の提示と活用→学期の学習の反省と夏休みの学習計画
	学習機会の拡充	サマースクール 定期考査前の質問教室 土曜学習教室

平成25年度	研究授業（年5回）	「思考・判断・表現する力を育むための言語活動の充実」から授業改善
	評価・評定の活用	評価方法の提示と活用 → 定期考査の学習計画 → 学習意欲の向上
	家庭学習の支援	家庭学習のしおり → 家庭学習の充実
	学習機会の拡充	土曜学習教室 サマースクール 放課後質問教室の規模拡大 パワーアップ教室 ビルドアップ教室の新設
	学力向上パートナーシップ事業	重点教科-国語科における習熟度別少人数授業の実施

成果と課題

基礎・基本の習得を目指した授業改善と授業力の向上

単元

「学習の見通し」から授業改善

- 単元や授業の冒頭に学習の見通しを生徒に伝える。
- 学ぶ内容や学ぶ方法を理解できるように伝える。
- 学習の進め方を明確にし、次の学習活動を考えて学習できるようにする。

ガイダンス資料 板書計画・学習シート

「学習の振り返り」から授業改善

- 単元や授業の最後に、授業で学習した内容を振り返らせる。
- 既習事項を活用するとともに、十分に身に付いていない力を課題として認識させる。

振り返りシート

毎回の授業

見通し

振り返り

導入

展開

まとめ

見通し

振り返り

学習の進め方が
わかったわ！

そうか。
わかったぞ！

だからそう
なのね！

今日はよく
できた。次も
がんばろう！

思考・判断・表現する力を育む授業改善と授業力の向上

思考・判断・表現する力を評価する授業を計画

身に付ける力の提示

- 授業の冒頭で身に付ける力（思考・判断・表現する力）を示します。
- 身に付ける力は、授業中に確認できるように板書したり、表示したりします。
- 授業の見通しはワークシートなどで示します。

導入

身に付ける



これができるようになるんだな。

意図的・計画的な評価

- 単元の学習活動のどの部分で、思考・判断・表現する力を育成するかを考えて、プロセス重視の単元の指導計画を作成します。
- 正解が1つではない課題を与え、様々な角度から考えさせます。
- 発表では根拠を示して説明できるようにさせます。

展開

思考・表現



どうしたらうまく伝えるかしら。

表現



そういう考え方もあるのね。

多角的な思考への取組

- 友達の発表や教師の新たな資料の提示などから、自分の考えをさらに深める学習活動を行います。
- 最初の考えがどのように変化したか、ワークシート等から見取ります。

まとめ

考えを修正



友達の考えを取り入れて、いい感じにまとめたぞ！

平成25・26年度 学力向上パートナーシップ事業

個に応じた指導の充実

- 週1時間、文法・漢字等の言語事項の問題演習を通して個別支援を進めています。
- 学習内容に応じた指導形態（習熟度別少人数・TT）を取り入れ、より細やかな指導を目指します。

学習の定着度の把握と管理

- 学習内容ごとに「個人カルテ」を作成し、生徒が自身の定着度を把握できるよう支援します。
- 学習内容ごとに小テストを実施し、定着が不十分な場合の取り組みを「個人カルテ」に記入します。

学習機会の拡充

学習機会の拡充を図るための基本的な考え方



勉強がよく分
からない。
個別に教えて
ほしいな。



みんなの勉
強方法を知っ
て、家でも頑
張りたいな。



試験勉強をして
いるけど、力が
付いてるのか
知りたいな。

基礎学力の定着

自主学習方法を知り
家庭学習の定着へ

学習意欲の向上と
学習習慣の定着

放課後質問教室
土曜学習教室
ビルドアップ教室



新しいことや
難しいことにも
挑戦してみたい
な。

+

発展的な学習への
関心・意欲の高揚

サマースクール
パワーアップ教室

●定期考査前の学習教室

《放課後質問教室》

- ①期日 考査前の原則5日間、年間5回
- ②時間 60分×1コマ
- ③指導者 教職員・学習支援員
- ④実施方法 2コースを設定
 - ★復習授業コース
 - ★個別指導コース

《土曜学習教室》

- ①期日 考査前の土曜日、年間5回
- ②時間 50分×3コマ
- ③指導者 退職教員・大学生・地域人材
- ④実施方法 2コースを設定
 - ★力試しコース
 - ★質問・居残りコース

●三者面談期間中の学習教室

《ビルドアップ教室》【基礎】

- ①期日 全校面談期間の5日間
- ②時間 1時間45分
- ③指導者 教職員
- ④実施方法 個別支援の必要な生徒を指名

●夏季休業中の学習教室

《サマースクール》【基礎・標準・発展】

- ①期日 前期・後期の合計6日間
- ②時間 50分×3コマ
- ③指導者 教職員
- ④実施方法 全教科開設（56コース）
希望講座を選択

●夏季休業前の夏期講習

《パワーアップ教室》【発展】

- ①期日 夏季休業日前の2日間
- ②時間 80分×2コマ
- ③指導者 大手進学塾講師
- ④実施方法 国・数・英を各2コマ開設
希望講座を選択



得意不得意に合わせ
て、選択できて助かる
わ。

評価・評定の活用（2学期1・2年生の例）

9月

「2学期の評価方法」の提示

- 学期の最初に、全ての教科担当が【学期の評価方法】を作成し冊子にして生徒に配付
- 2学期の学習内容
 - 定期考査に向けてのアドバイス
 - 各観点の評価規準
 - 各観点の評価材料
 - 各観点の評定に対する割合

平成25年度 2学期評価方法 1学年【国語】		教科担当	
単元・題材 指導目標 定期考査に向けて	観 点	評価材料	割 合
①随筆「江戸からのメッセージ」 ②記録「シカの落ち穂拾い」 ③物語「大人になれなかった弟たちに…」 「星の花が降るころに」 ④詩「詩四編」 ⑤漢文「今に生きる言葉」 ⑥漢字「漢字の組み立てと部首」 ⑦文法「だれが・何を・どうする？」	国語への【関心・意欲・態度】 国語で伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深めようとしている。	<input type="checkbox"/> ワークシート <input type="checkbox"/> ノート、ワークなどの提出物 <input type="checkbox"/> 授業に対する取組の姿勢 <input type="checkbox"/> 小テスト	20%
①②文章中の接続語や指示語に着目し文章構成をとらえ、内容を理解する。 ③5W1Hや情景描写、登場人物の行動から情をとらえる。 ④前に使われている語句や表現、詩の形などをとらえる。 ⑤中国の古典に由来する言葉を知り、漢文独特の言い回しに読み慣れる。 ⑥漢字の組み立てと部首を理解する。 ⑦文節の働きを理解し、文節の関係をとらえる。	【話す・聞く】能力 目的や場面に応じ構成を工夫して話したり、話し手の意図を考えながら聞いたり、話題や方向をたどらえて話し合うことができ、そのような中で自分の考えをまとめようとしている。	<input type="checkbox"/> 聞き取りテスト <input type="checkbox"/> 授業に対する取組の姿勢	20%
定期考査に向けて 文章読解では、筆者の主張は何か、どのような文章構成なのか、また、登場人物は何を経験し、何を思っているのかなどを考えながら本文を何度も読みましよう。段落ごとに内容をまとめることも効果的です。考える、読む、まとめるといった手順を惜しまず取り組むこと。言語事項に関しては、読み書きを繰り返すこと、似ている問題になれておくことが	【書く】能力 目的や場面に応じ、構成を考えて的確に書くことができ、また、文章を書いて考えをまとめようとしている。	<input type="checkbox"/> ワークシート、ノート <input type="checkbox"/> 作文 <input type="checkbox"/> 定期考査	20%
	【読む】能力 様々な文章を読み、内容や要旨を的確にとらえ、読むことを通してもの見方や考え方を広げている。	<input type="checkbox"/> 音読、暗誦 <input type="checkbox"/> 定期考査	20%
	言語についての【知識・理解・技能】 伝統的な言語文化に親しみ、言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、適切に使用している。文字を正しく整えて速く書いて	<input type="checkbox"/> 書写 <input type="checkbox"/> 小テスト <input type="checkbox"/> 定期考査	20%

毎日の学習に目標をもつ

定期考査に向けて計画的に学習

定期考査の振り返りをする



定期考査だけでなく、音読と暗誦もがんばるわ！

終業式3日前

2学期の評価説明資料

- 9教科の2学期「評価説明資料」を冊子にして配付
- 2学期の学習内容
 - 各観点の評価材料
 - 各評価方法の評定に対する割合

通知表【学習の記録】

- 通知表【学習の記録】の配付
- 各教科の観点別評価
 - 各教科の評定

振り返りシート

- 【学習の記録】と2学期評価説明資料を活用して、振り返りシートに記入する。
- 成果と課題を明確化
 - 新たな学習目標の設定

生徒・保護者対象に2日間の質問期間を設定

終業式 通知表【生活の記録】担任の所見・出欠の記録・総合的な学習の時間の評価を配付

3学期の学習へつなげる

家庭学習への支援

家庭学習のしおり

- 各教科の具体的な学習方法を提示する。
【基礎・発展】
- 定期考査への取り組み方法を提示する。
- 長期休業中の学習計画の立て方を提示する。



定期考査の学習計画が立てやすくなったぞ！

宿題提示の工夫と授業での活用

- 次の授業に生かすための課題を授業の振り返りで伝える。
- 振り返りテストを次の授業の最初に行うことを伝える。
- ノート作りのアドバイスを伝える。



次の授業までに何をすればいいかわかったわ。

研究の成果



説明したことが
伝わると
楽しいな。

思考・判断・表現する力の育成

□児童・生徒の学力向上を図るための調査
(H23→H24→H25) 東京都の平均正答率
との比較

- ・国語の解決する力の変化
(-10.1%→-1.9%→+6.7%)
- ・数学の数学的な見方や考え方の変化
(-7.7%→-6.6%→+6.9%)
- ・英語の取り出す力の変化
(-6.0%→-1.4%→+9.2%)

□平成25年度全国学力・学習状況調査より
・数学のB問題で東京都の平均正答率が
5.5%上回る。



考えるために
基礎は必要ね。

学習意欲の向上

□学習機会の拡充 定期考査前の学習教室の参加率が
倍増 (5月→11月)

- ・土曜学習教室 16%→52%
- ・放課後質問教室 30%→65%

□生徒による授業評価より

「授業で関心や意欲が高まり、知識や技能が
身に付いている。」と答えた生徒の変化

国語の授業 H24.1年→H25.2年(49%→77%)
英語の授業 H24.2年→H25.3年(46%→78%)



もっといろいろ
知りたいわ!

基礎的・基本的な知識・技能の習得

□児童・生徒の学力向上を図るための調査
(H23→H24→H25) 東京都の平均正答率と
の比較

- ・国語の知識・理解・技能の変化
(-9.3%→+0.2%→+6.2%)
- ・数学の数学的な技能の変化
(-6.6%→+3.3%→+7.2%)
- ・英語の外国語理解の変化
(-3.7%→-0.1%→+5.8%)

研究の課題

表現力の育成

- 根拠を示して自分の考えを伝えられる力を育成します。
- 学力向上パートナーシップ事業を通して小学校と連携し、学力を向上させます。

授業改善の推進

□授業改善と授業力を向上させるため、指導と評価の一体化を図ります。



次の授業に生かすPDCAサイクル